

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○落ち着いた環境の中で、子どもたちが「感動、わくわく、いきいき」と学習活動に取り組む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかる喜びを味わうことを通して、子どもたちが進んで考えたり、表現したりできるようにします。 ・自分や身の回りの人人を大切に過ごせるようにします。 ・学校医と連携し、児童が主体的に、健やかな体をつくれるようにします。 ・児童一人一人が公德心や豊かな人権感覚をもてるように組織的に支援します。 ・地域環境を生かした教育活動を充実させ、児童がまちのよさに気づき、進んでかかわるようにします。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		異学年集団の活動などの機会を設け、児童が様々な人とかかわりを通して、自他のよさに気付くとともに、自尊感情をもてるようにする。	①たてわり活動のねらいを全職員で共有し、児童にとって充実感のもてる活動にする。 ②ペア学年を決め、相手意識をもたせたり、学年に応じたたてわり活動でのめあてをもたせたりし、取り組みを価値づけることで、進んで他の学年とかかわり、活動へ主体的に取り組む意欲をもてるようにする。
	担当		
人権教育		いじめの防止、不登校児童へ適切な支援に努めるとともに、児童に道徳性や社会的スキルを身に付けさせ、豊かな人間関係を形成できるようにする。	①いじめ防止基本方針に基づいて、計画的ないじめアンケートやいじめ防止の取り組みを進める。 ②不登校児童についてケース会議を開くなどし、多くの職員で協力して支援にあたるようにする。 ③横浜プログラムの活用・道徳の授業改善等を通して、児童が自己表現や他者理解などの社会的スキルを身に付け、自他共に大切に生活できるようにする。
	担当		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

昨年度の生活実態調査によると、本校の児童は、横浜市平均と比べて、自尊心が低い傾向にある。学校生活の中でも、自分に自信がないと感じている場面が見られる。（「自分にはよいところがあると思いますか」より）

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1「道徳の時間」の充実

- ・今日的な課題について深く考えることができるもの、学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などについて深く考えるもの等の視点にたった資料の開発と活用を行う。（視点2）

指針2 体験活動の充実 「異年齢集団活動」の充実

- ・「児童会活動」「委員会活動」「クラブ活動」「縦割り班活動」などの「異年齢集団活動」では、それぞれの発達段階に応じたためあてをもたせることで、自分たちが集団の中で何をするのかが明確になり、より自主的・意欲的に活動に取り組むことができるようにする。また、一人ひとりが役割をもって活動することで、異年齢集団の中における所属感を高め、関わり合う楽しさや認め合う心を育成する。(視点3)

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権教育の年間計画に子どもの社会的スキル横浜プログラムを位置づけることで、意図的、計画的に子どもの社会的スキルの系統的な育成を図る。また、Y-P アセスメントの支援検討会を行うことで、教師の人権感覚・意識の育成を行う。(視点7)

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・「朝読書」の時間を設定したり、「読書集会」「読書週間」などを行ったりし、本に親しむ時間を確保することで、読書活動の浸透を図る。読書の世界にふれ、読書の楽しさに親しむ機会の充実をすすめ、子どもたちの表現力創造力を高め、豊かな感性をはぐくむ。(視点11)